



おきぎん 経済研究所

NEWS RELEASE

---

2014年6月27日

## 第56回おきぎん企業動向調査 (2014年4~6月期) 調査結果

---

**現場主義とお客様からの信頼**

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

## 第56回おきぎん企業動向調査(2014年4～6月期)調査結果

～県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2014年7～9月期見通し)～

### I. はじめに

#### 1. 調査の結果

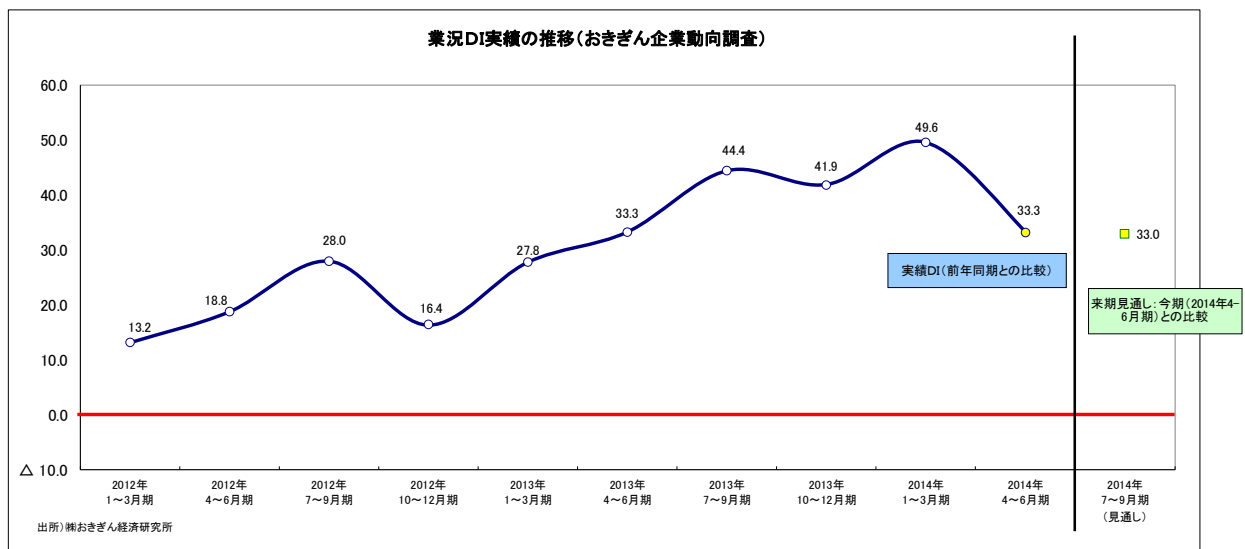
業況DIの推移

期間・結果	2013年			2014年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期(見通し)
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
<b>全業種計</b>	<b>33.3</b>	<b>44.4</b>	<b>41.9</b>	<b>49.6</b>	<b>33.3</b>	<b>33.0</b>
製造業	28.3	40.0	43.5	52.6	26.5	41.7
土木業	31.6	41.7	30.0	45.0	34.8	30.4
建築業	39.5	50.0	61.6	67.4	46.7	30.3
卸売業	27.7	39.8	38.1	35.3	30.2	28.9
小売業	36.1	38.5	27.3	41.7	13.8	34.9
情報通信サービス業	55.6	36.4	22.2	60.0	37.5	12.5
医療・福祉	22.7	36.7	31.0	22.2	29.2	25.0
その他サービス業(宿泊・飲食等)	35.1	61.4	42.2	53.8	33.9	47.3
その他(不動産・運輸等)	33.8	46.9	48.6	55.1	43.5	27.9

2014年4～6月期調査の業況DIは33.3(前年同期比)となりました。

消費税増税前の駆け込み需要がみられた前期(2014年1～3月期)と比較すると、今期は駆け込み需要の反動等により業況DIのポイント数は減少しています(49.6→33.3)。ただし、前年同期との比較では、【製造業】、【土木業】、【建築業】、【卸売業】、【小売業】、【情報通信サービス業】、【医療・福祉】、【その他サービス業】、【その他】の全ての業種で「業況改善の動き」がみられます。

2014年7～9月期の業況見通しDIについては33.0となり、全ての業種において「業況改善の動き」が見込まれています。



2. **調査の概要**: 本調査は各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、収益面等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、次期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめたものです。

- a. 調査時期: 2014年5月下旬～6月上旬
- b. 調査対象: 県内企業 465社
- c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価  
⑤採算 ⑥引き合い(問合せ等) ⑦雇用  
⑧設備・その他投資需要(第51回調査までの「IT関連投資」と「その他の投資」を統合)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、それらの割合を表したものです(本レポートでは方向性を示すため「悪化・低下・減少」はマイナス表示を用いています)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

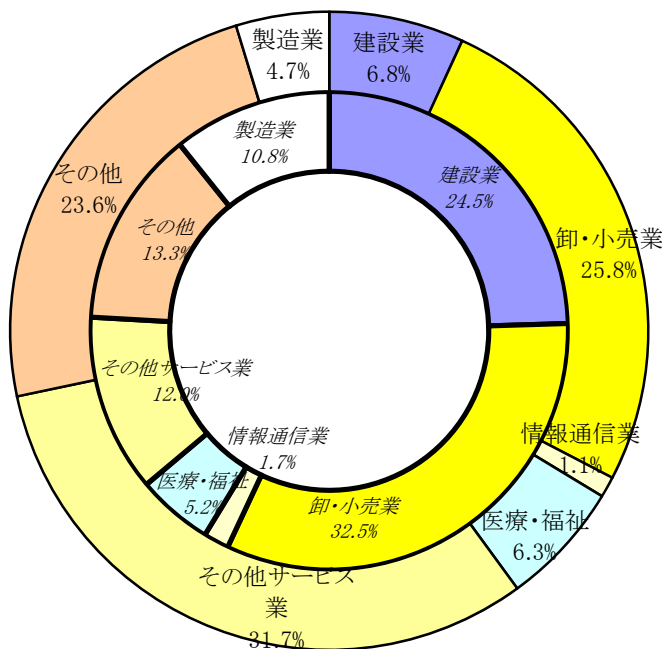
②DI=「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

上記①、②から、**DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)**といった具合にご覧いただけます。

3. **調査対象企業の業種・所在地構成**

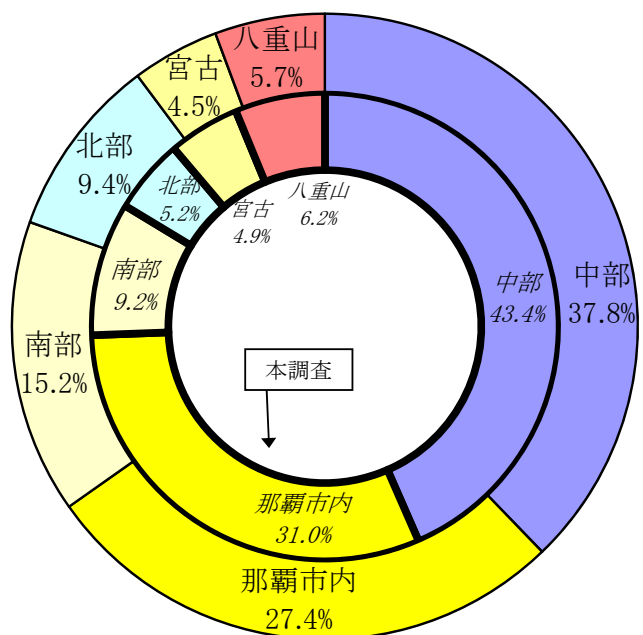
県内の産業別事業所数および事業所所在地構成(2012年経済センサス基礎調査)と比較すると、本調査はその他サービス業(宿泊、飲食等)及びその他(不動産、運輸等)が少なく、製造業、建設業(本調査では土木業・建築業)、卸・小売業が多いサンプリングになっています。なお所在地は、中部、那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料)総務省、当行

県内の事業所所在地構成(外円)、本調査の事業所所在地構成(内円)



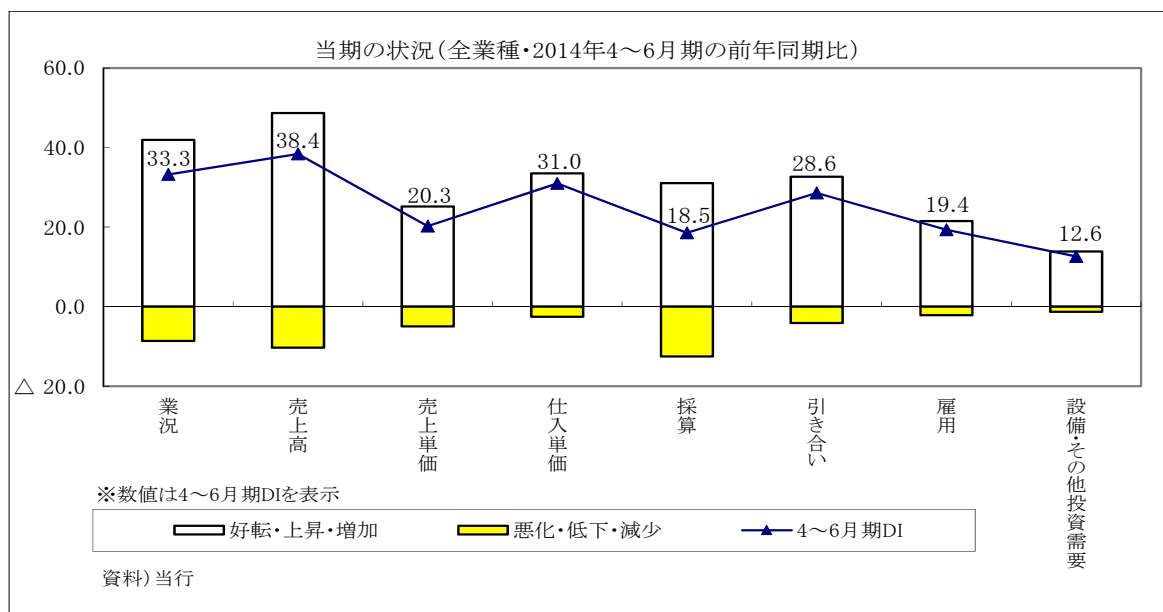
資料)総務省、当行

## II. 調査結果(1) ～おきぎん DI: 県内の経営環境と業況感について～

### 1. 全業種

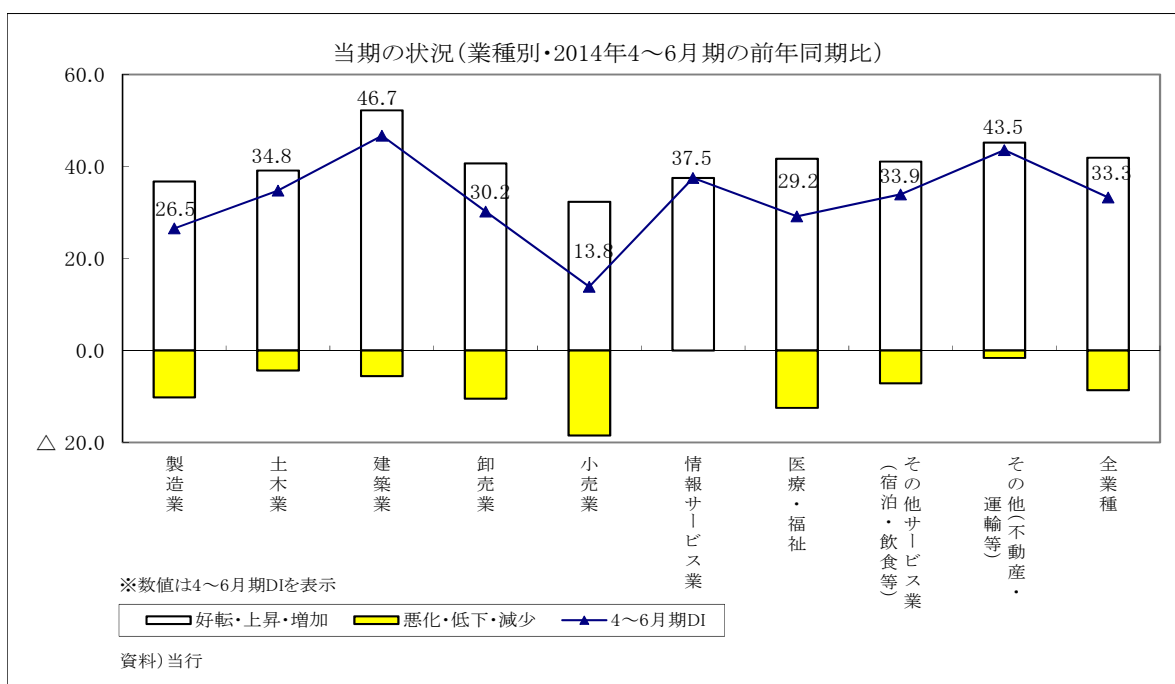
#### a. ①当期の状況(項目別・2014年4～6月期の前年同期比)

当期の業況DIを項目別で見ると、前年同期比では「公共工事の受注増加」や「全般的な県内景況の拡大」の影響などにより好調に推移しています。全体では売上高(38.4)や引き合い(28.6)が増加しており、全ての項目で改善しています。消費税増税により仕入単価(31.0)の上昇もみられるものの、全体としては**業況(33.3)改善の動き**がみられます。



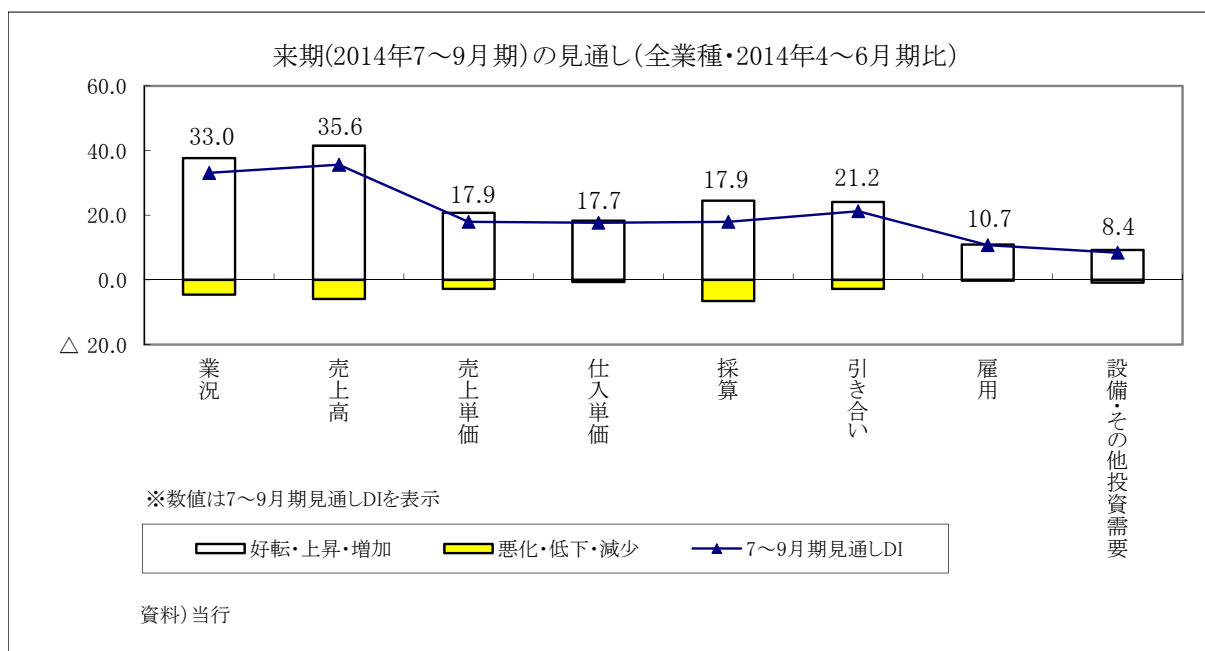
#### a. ②当期の状況(業種別・2014年4～6月期の前年同期比)

当期の状況を業種別で見ると、今期は「公共工事の受注増加」に加え、「消費税増税前の駆け込み需要で増加した民間工事の受注案件」の影響などにより【**建築業**】(46.7)や【**その他**】(43.5)、【**土木業**】(34.8)などが大幅に改善しています。また、【**小売**】(13.8)の一部では消費税増税前の駆け込み需要による反動減がみられるものの、全ての業種において**業況改善の動き**となりました。



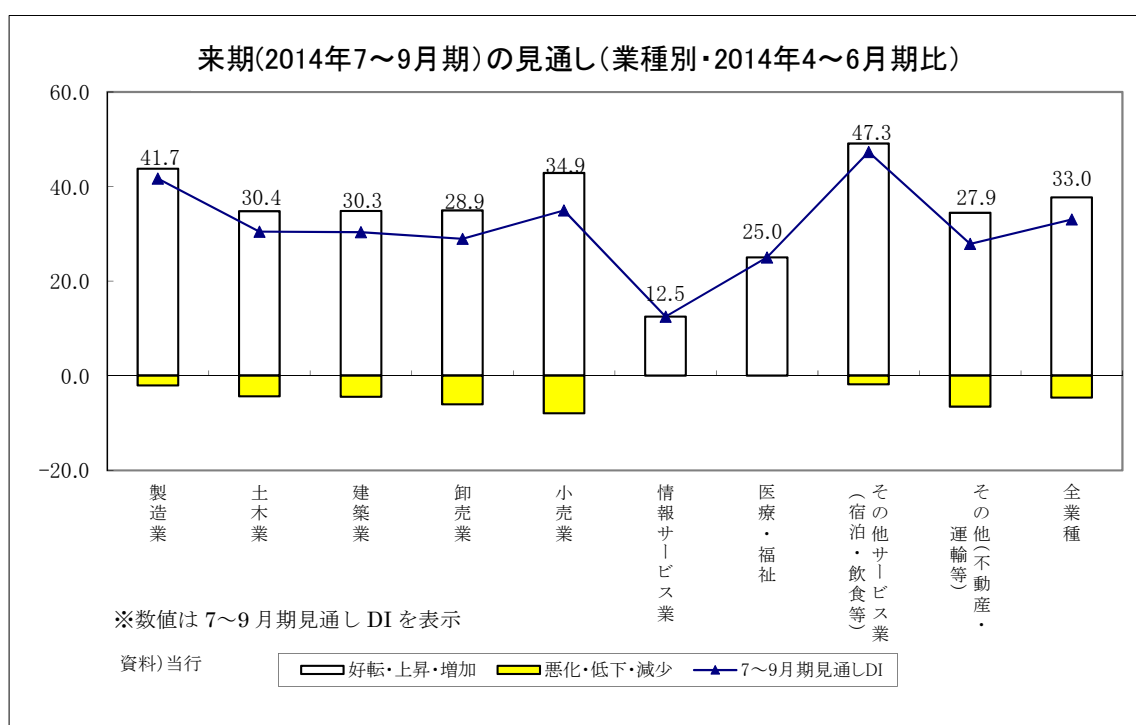
**b.①来期の見通し(項目別・2014年7～9月期の2014年4～6月期比)**

来期(2014年7～9月期)の見通しDIを項目別でみると、引き続き公共工事の受注増加や観光シーズンの到来による需要増加などにより堅調に推移することが予想されます。消費税増税前の駆け込み需要の反動減により影響を受けている売上高、採算、引き合いは徐々に持ち直すことが予想されます。また、資材価格高騰などによる仕入単価上昇、採算の悪化などを懸念する声もみられますが、全体(業況:33.0)としては**業況改善の動き**が見込まれます。



**b.②来期の見通し(業種別・2014年7～9月期の2014年4～6月期比)**

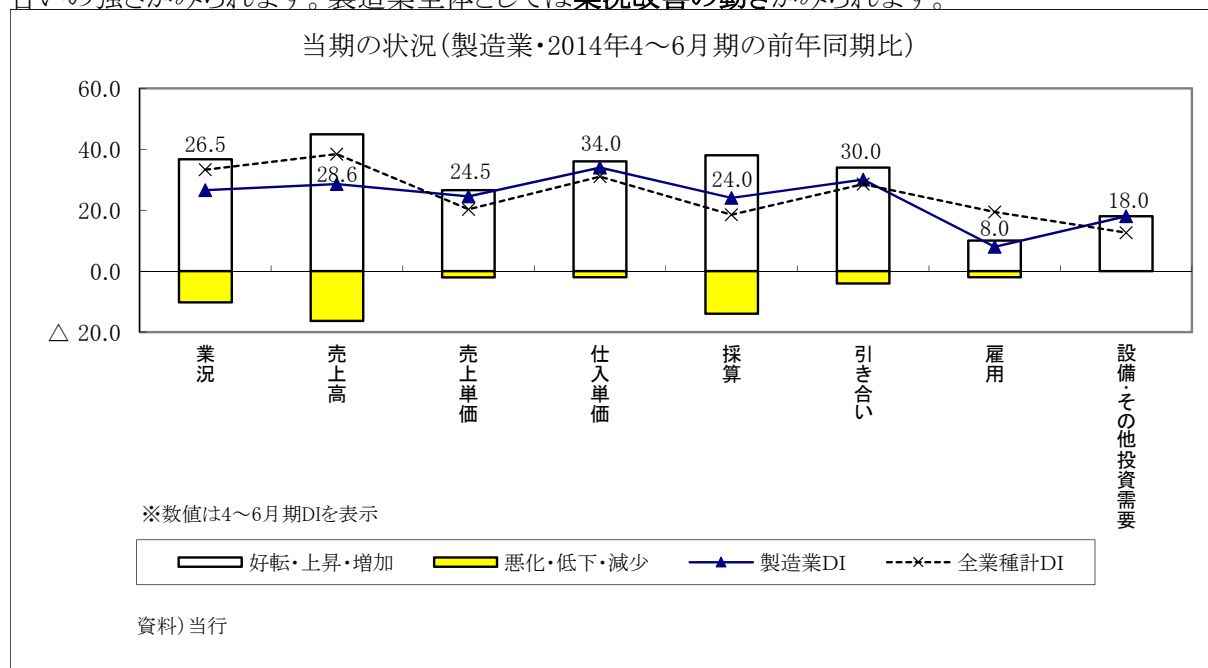
来期(2014年7～9月期)の見通しDIを業種別でみると、観光のトップシーズンの到来により【**その他サービス業**】(47.3)、【**製造業**】(41.7)、【**小売業**】(34.9)などが全体DI(33.0)を上回る業況の強さを見込み、全ての業種において**業況改善の動き**が見込まれます。



## 2. 製造業

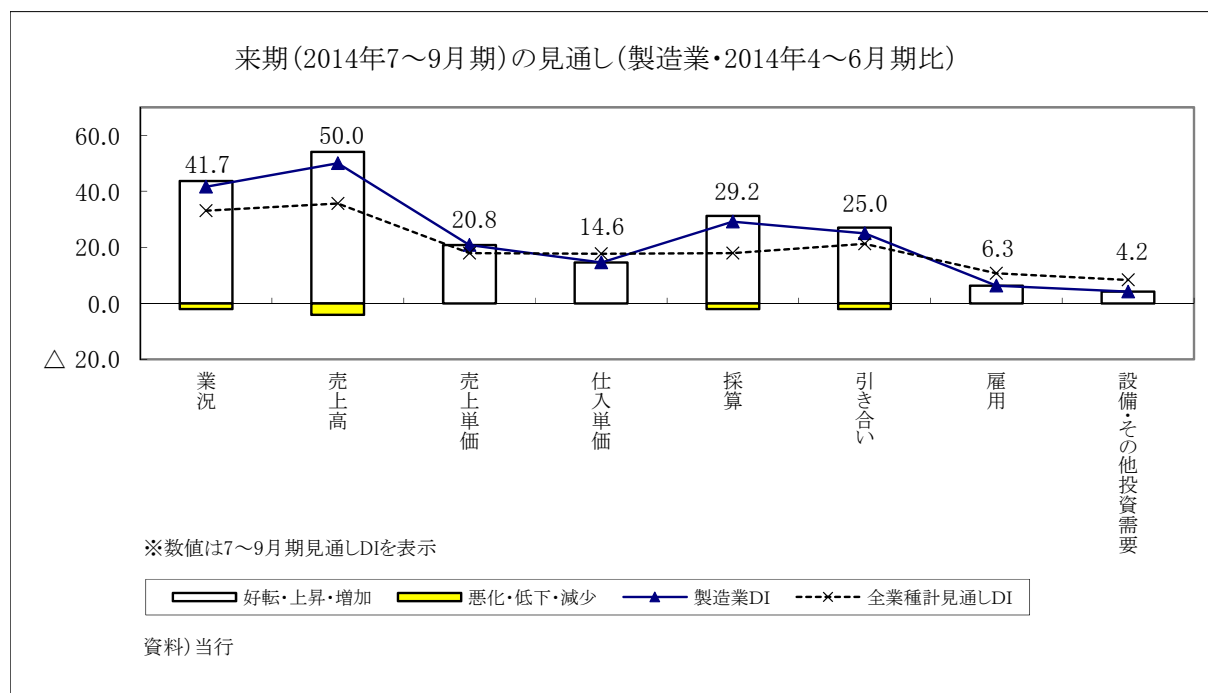
### a. 当期の状況 (2014年4～6月期の前年同期比)

【製造業】DI をみると、公共・民間工事の受注増加により、生コン製造業などにおいて売上高や引き合いが増加しており、採算も改善しています。また、食品製造業においても、消費税増税による売上単価・仕入単価の上昇がみられるものの、県外・海外の販路拡大などにより売上高の増加や引き合いの強さがみられます。製造業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



### b. 来期の見通し (2014年7～9月期の2014年4～6月期比)

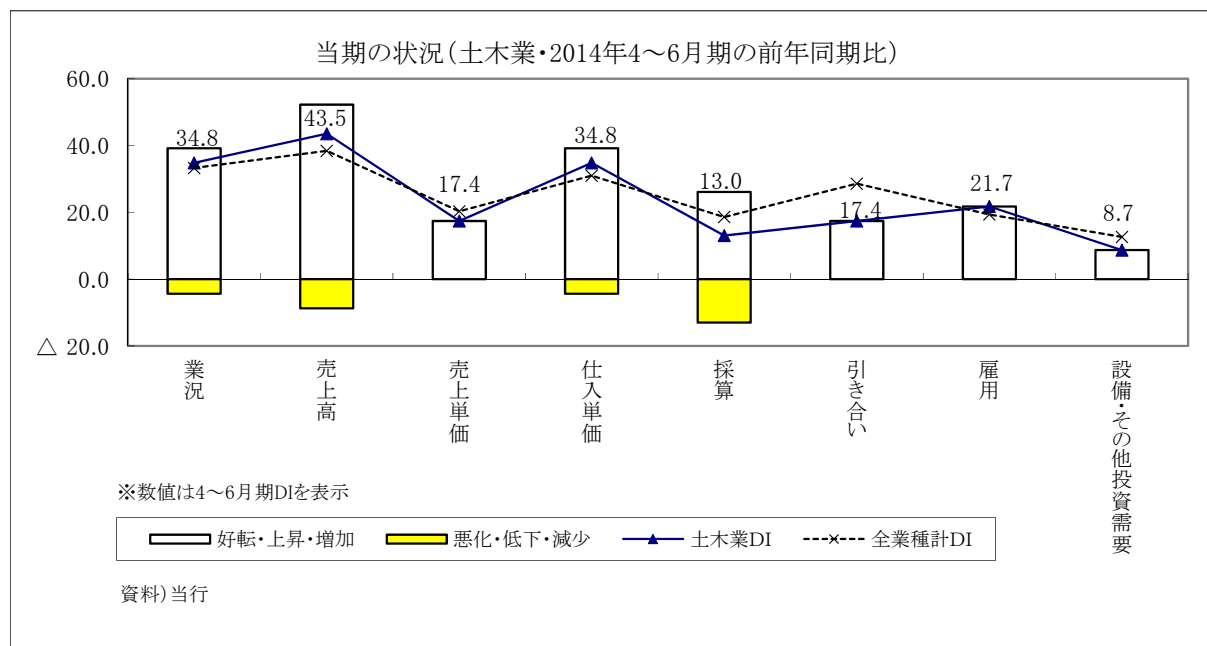
来期の見通し【製造業】DI をみると、那覇空港第2滑走路増設などの公共工事の受注増加によりセメント・生コン製造業において売上高の増加が見込まれます。また、観光のトップシーズン到来により観光客の需要が見込まれることから、食料品製造業、琉球ガラス製造業などにおいても売上高の増加や引き合いの強さが期待されます。製造業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



### 3. 土木業

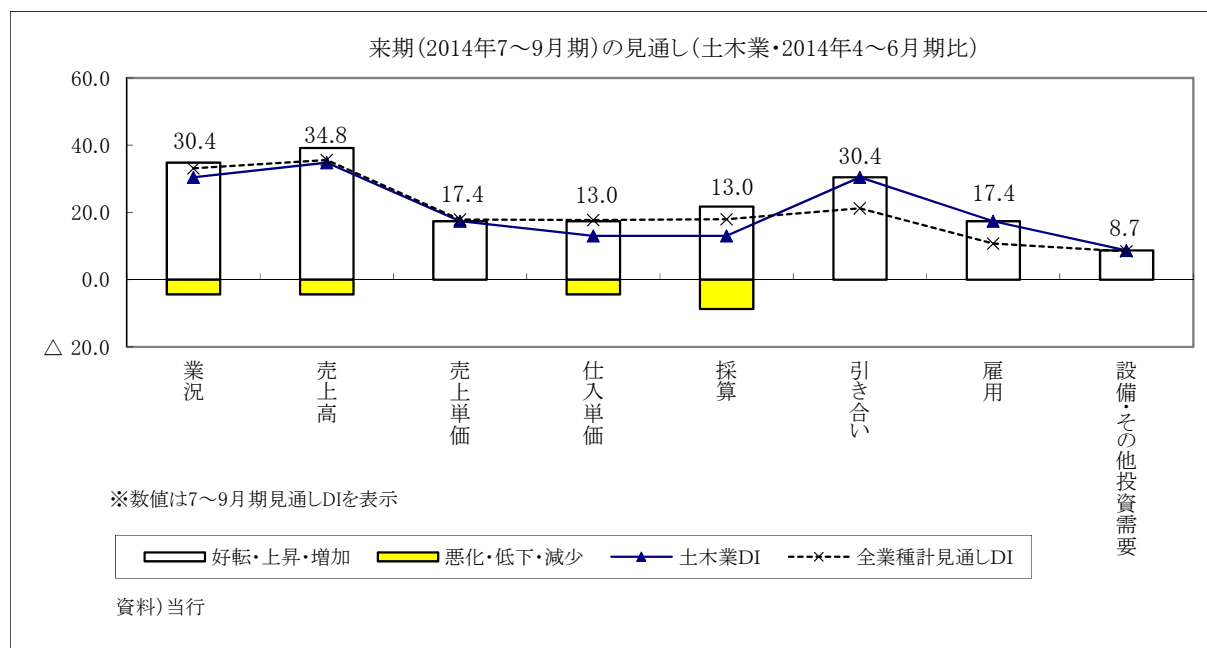
#### a. 当期の状況 (2014年4～6月期の前年同期比)

【土木業】DIをみると、公共工事の受注が増加していることなどから、売上高、引き合い、雇用が増加しています。一方で、仕入単価や人件費の高騰などにより採算が悪化している事業者もみられます。土木業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



#### b. 来期の見通し (2014年7～9月期の2014年4～6月期比)

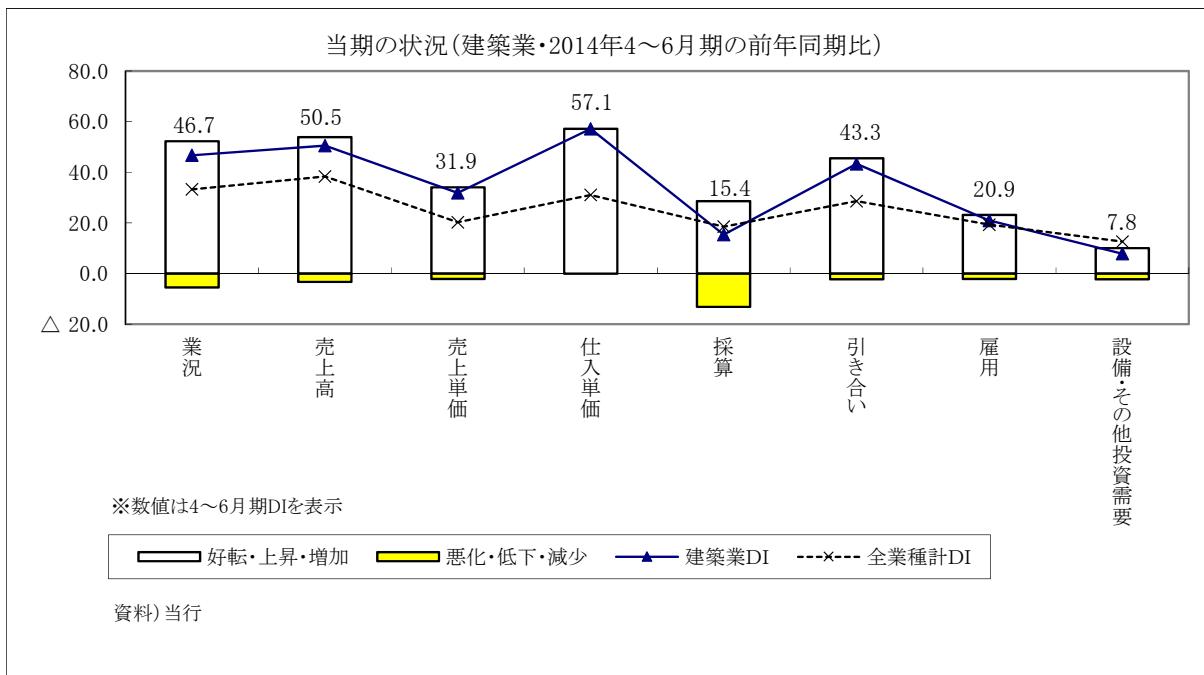
来期の見通し【土木業】DIをみると、引き続き公共工事の受注増加を見込む事業者がみられ、売上高増加や引き合いの強さが期待されます。一部の事業者では、工事受注増加を見込み、雇用を増加する動きも見られます。土木業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



#### 4. 建築業

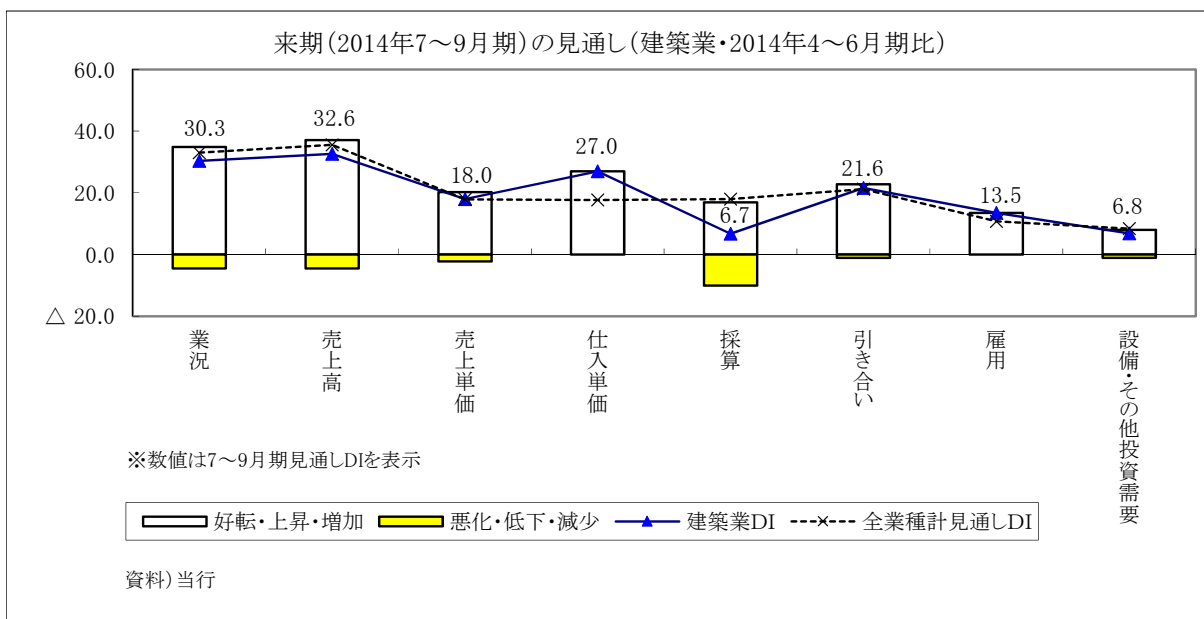
##### a. 当期の状況 (2014年4～6月期の前年同期比)

【建築業】DI をみると、消費税増税前の駆け込み需要で増加した民間工事(住宅・アパート等)の受注案件により、売上高は大幅に改善しています。また、公共工事の受注増加もみられ、引き合いは改善しています。一方で、資材価格や人件費の高騰などにより採算が悪化している事業者も一部で見られます。建築業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



##### b. 来期の見通し (2014年7～9月期の2014年4～6月期比)

来期の見通し【建築業】DI をみると、引き続き民間・公共工事の受注増加などが見込まれ、売上高や引き合いの増加が期待されます。その一方で、資材価格や人件費の高騰などから、採算の悪化を懸念する事業者もみられます。建築全体としては**業況改善の動き**がみられます。

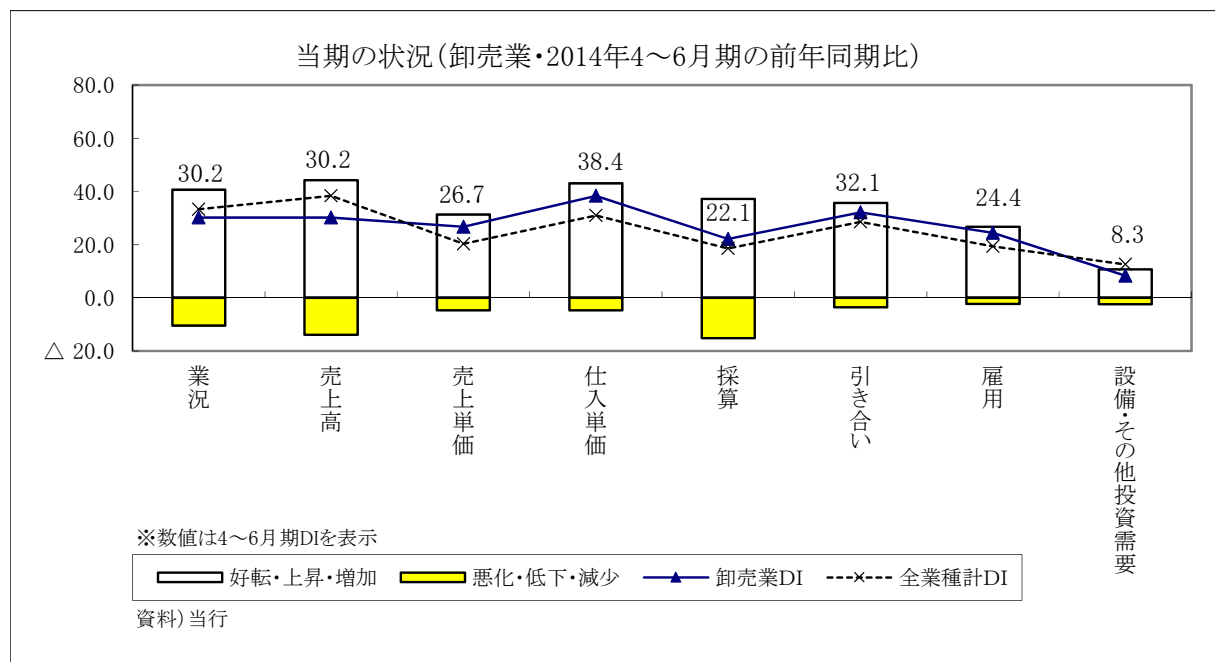




## 5. 卸売業

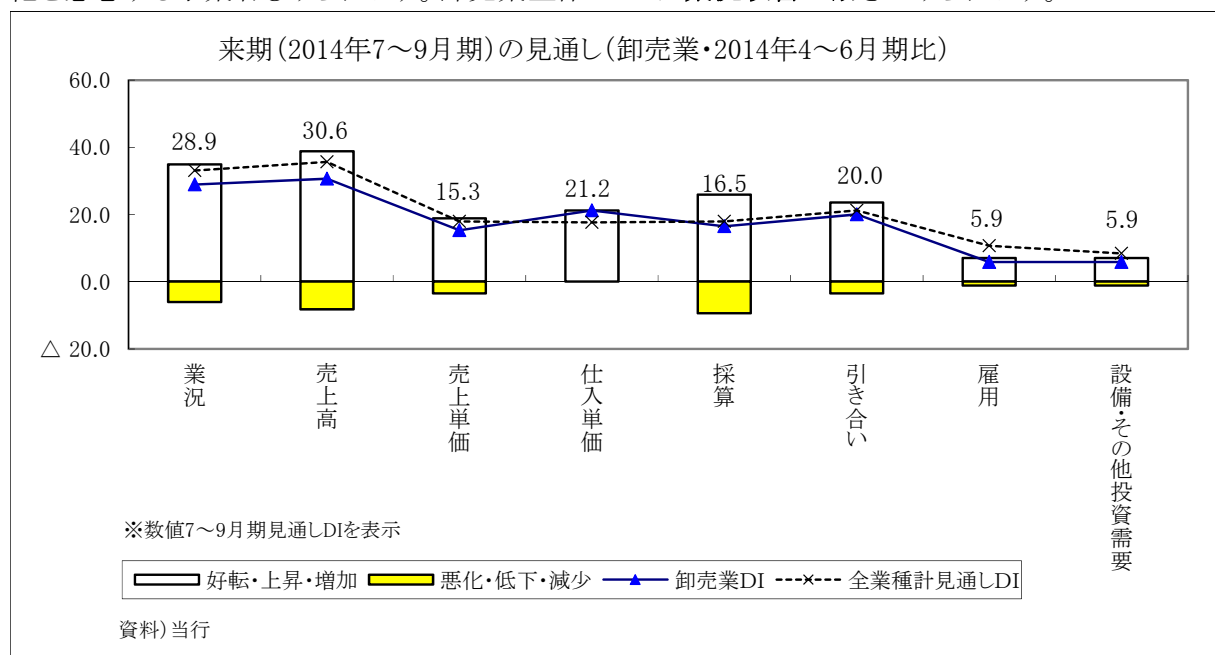
### a. 当期の状況 (2014年4～6月期の前年同期比)

【卸売業】DI をみると、民間・公共工事の受注増加を背景に、建築資材・生コン販売関連などの卸売事業者で売上高や引き合いが増加しています。一方、一部の建築資材・食料品関連の事業者において、消費税増税に伴う仕入価格上昇や駆け込み需要の反動による売上高減少がみられます。卸売業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



### b. 来期の見通し (2014年7～9月期の2014年4～6月期比)

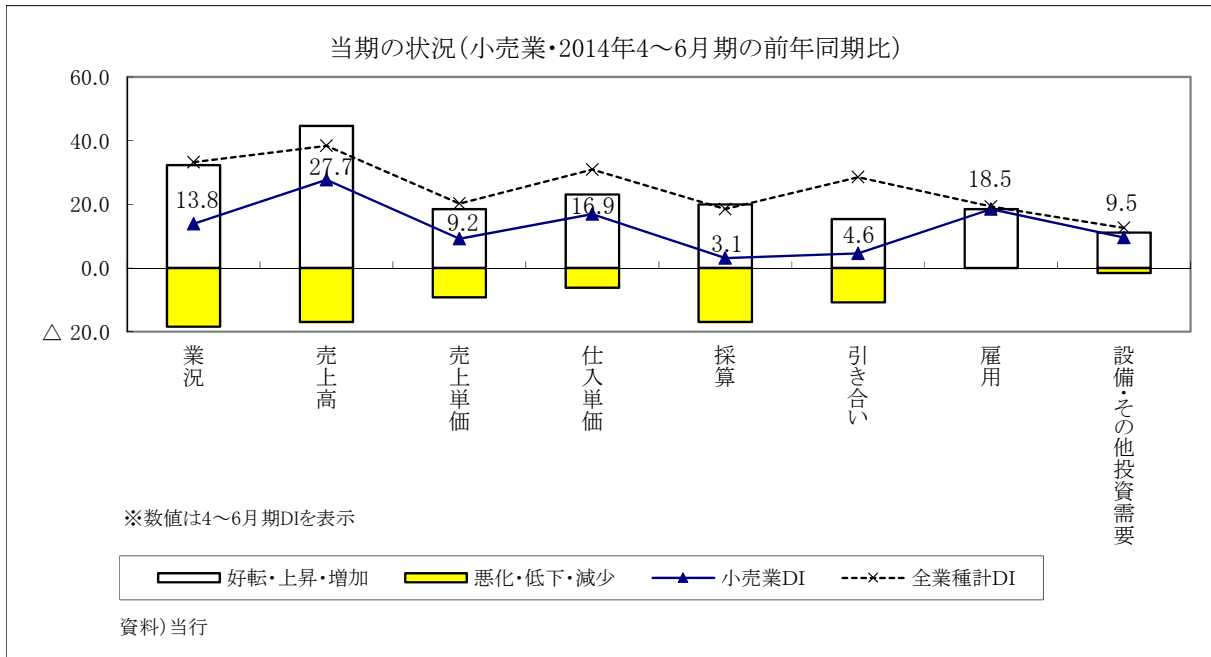
来期の見通し【卸売業】DI をみると、引き続き公共工事の受注増加や観光客の増加などにより建築資材関連や観光土産品、食品卸売などにおいて売上高や引き合いの増加が見込まれます。一方で、一部では消費税増税に伴う仕入価格の上昇や、販売単価上昇による引き合いの減少、採算悪化を懸念する事業者もみられます。卸売業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



## 6. 小売業

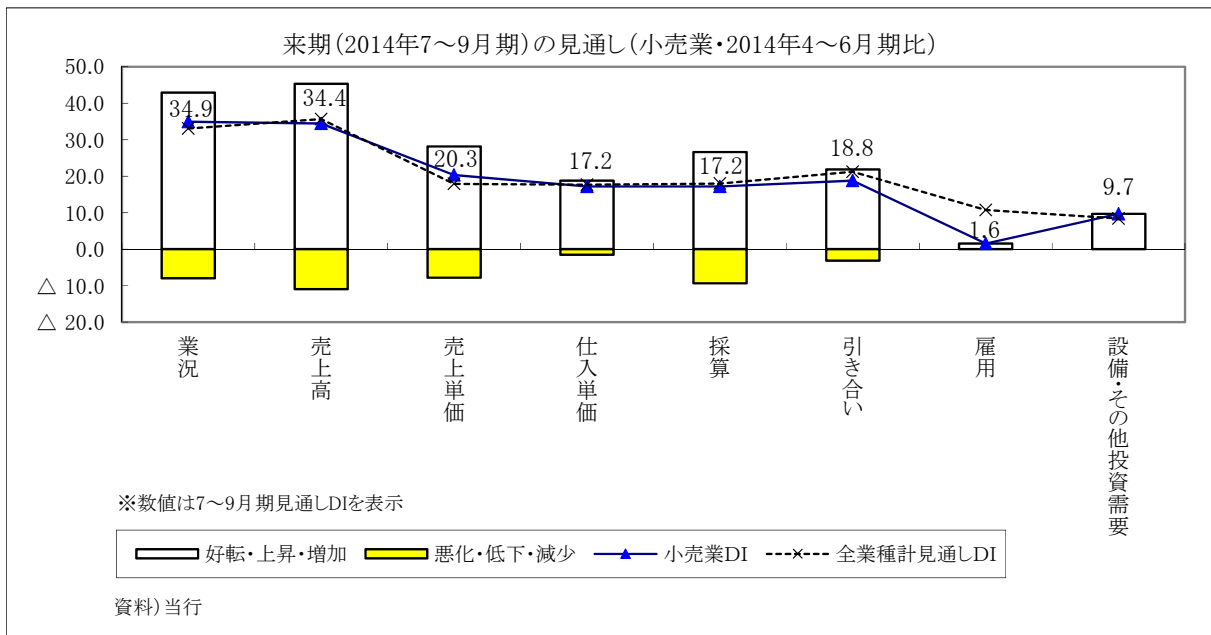
### a. 当期の状況 (2014年4～6月期の前年同期比)

【小売業】DIをみると、自動車や家電などの販売事業者において消費税増税前の駆け込み需要の反動減がみられるものの、コンビニエンスストアや百貨店などでは新規出店・改装効果がみられ、売上高が増加しています。一方、ガソリン販売やガス販売では消費税増税に伴う仕入価格上昇などにより採算の悪化を懸念している事業者もみられます。小売業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



### b. 来期の見通し (2014年7～9月期の2014年4～6月期比)

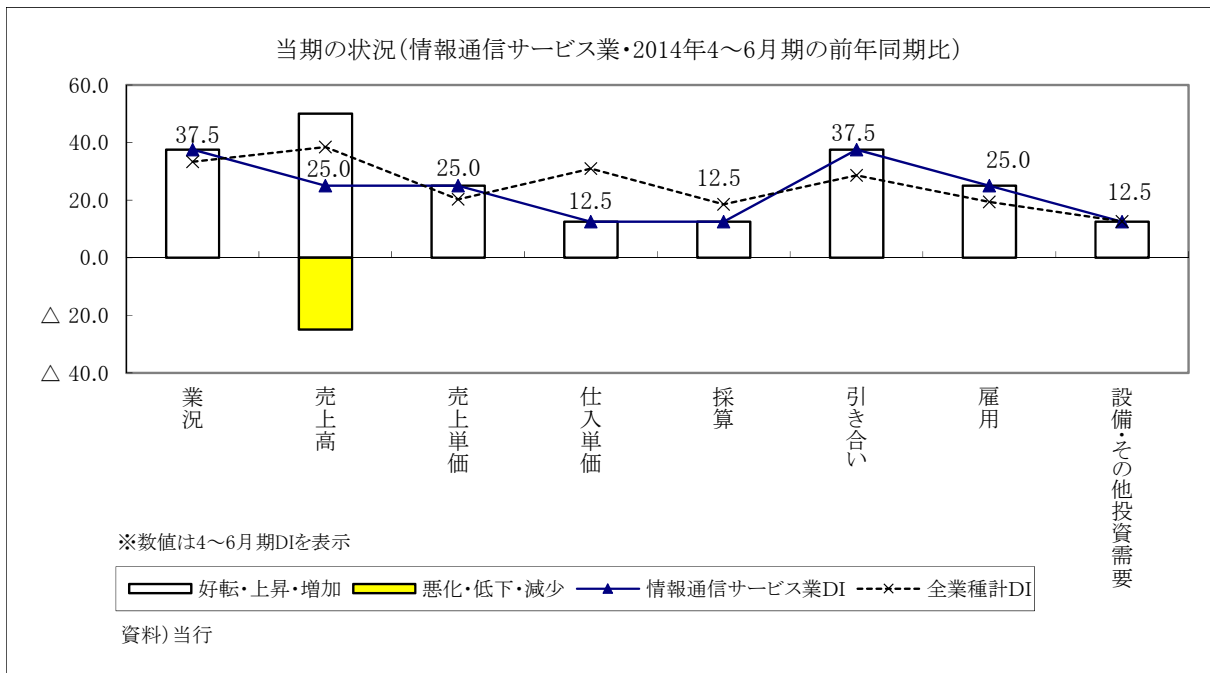
来期の見通し【小売業】DIをみると、夏場の観光需要の増加により、観光土産品販売、ガソリン販売(レンタカー利用者増加)の増加などが見込まれ、売上高、採算の改善が予想されます。また、スーパー・家電販売などにおいても消費税増税前の駆け込み需要の反動減からの持ち直しが期待されることから、小売業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



## 7. 情報通信サービス業

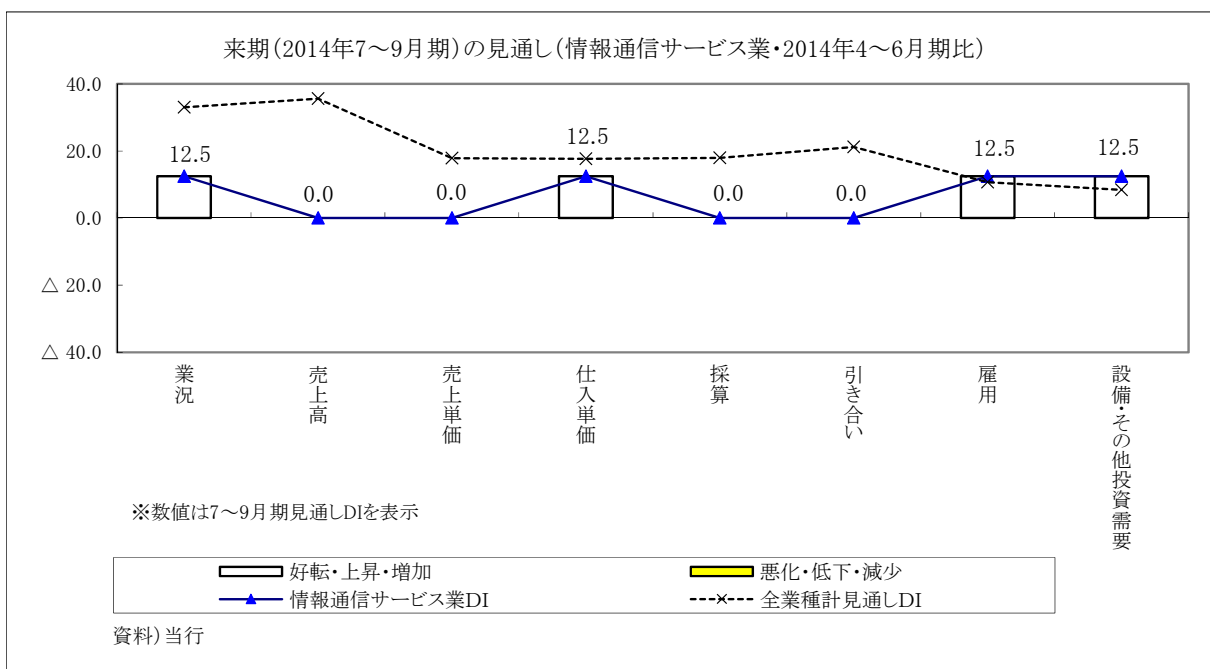
### a. 当期の状況 (2014年4～6月期の前年同期比)

【情報通信サービス業】DIをみると、自治体や学校において防災システムなどの投資活発化の動きがみられるほか、求人募集を中心に広告需要の増加も一部でみられ、売上高、引き合いは改善しています。情報サービス業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



### b. 来期の見通し (2014年7～9月期の2014年4～6月期比)

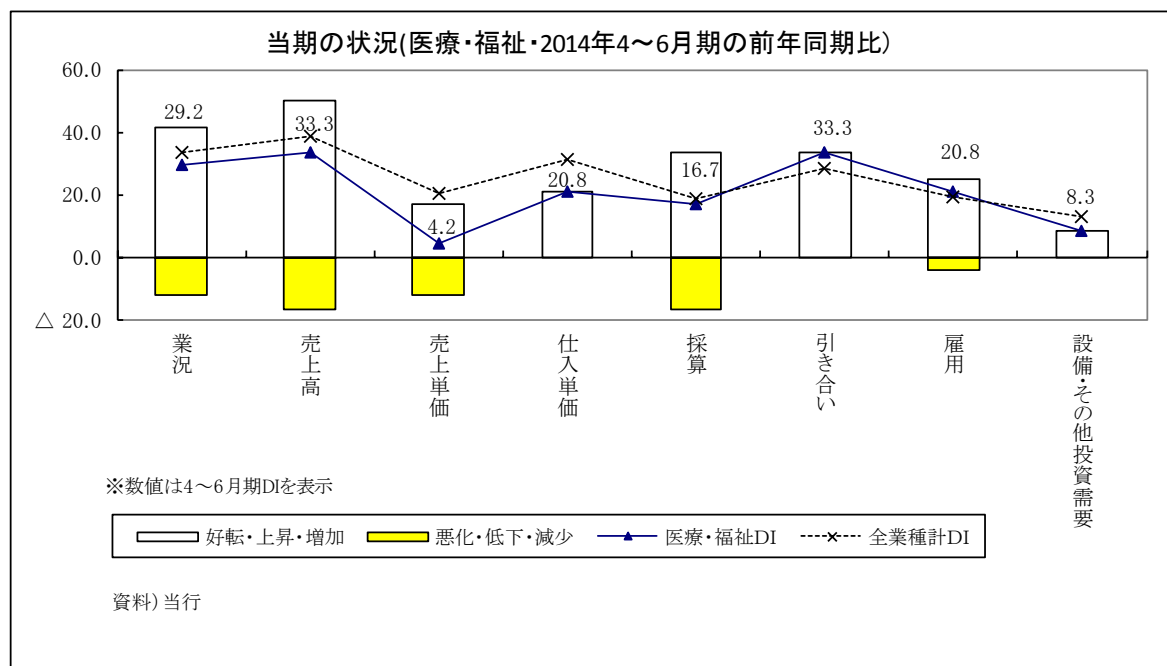
来期の見通し【情報通信サービス業】DIをみると、一部の事業者ではシステム開発などの新規事業に伴う雇用増加が見込まれます。新規顧客獲得に向けた企画やキャンペーン強化の動きもみられ、情報通信サービス業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



## 8. 医療・福祉

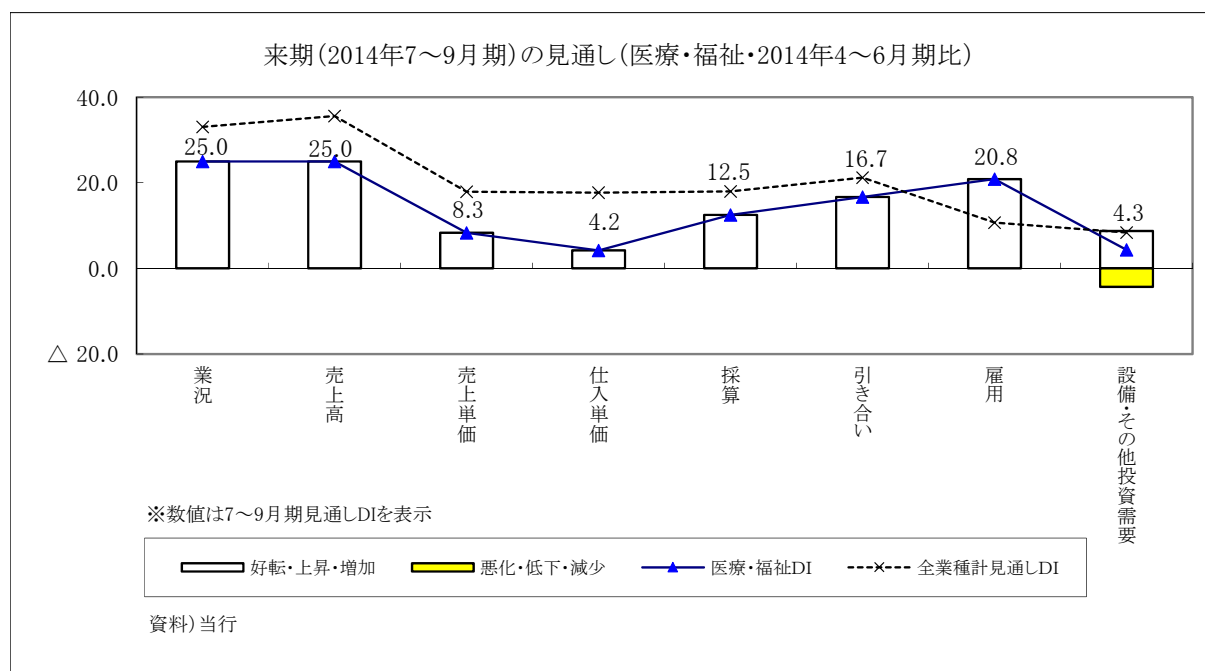
### a. 当期の状況 (2014年4～6月期の前年同期比)

【医療・福祉】DIをみると、医療施設の経営環境は引き続き堅調に推移しています。一部では診療報酬の改定に伴う売上単価の減少がみられるものの、新規施設の稼働やサービス部門の拡大により売上高や引き合いは増加しています。採算も改善しており、医療・福祉全体としては**業況改善の動き**がみられます。



### b. 来期の見通し (2014年7～9月期の2014年4～6月期比)

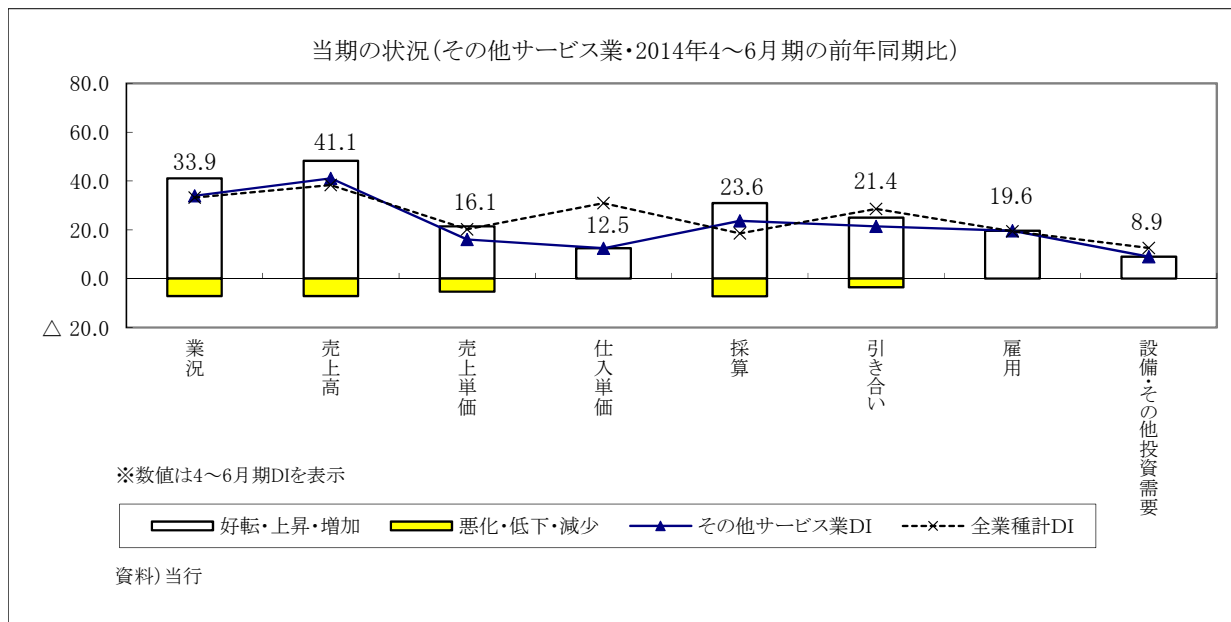
来期の見通し【医療・福祉】DIをみると、医療施設の経営環境は堅調に推移することが見込まれます。入所者数の増加に伴う従業員の増加が見込まれることから、売上高や、採算の改善も期待されます。医療・福祉全体としては引き続き**業況改善の動き**がみられます。



## 9.その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連等)

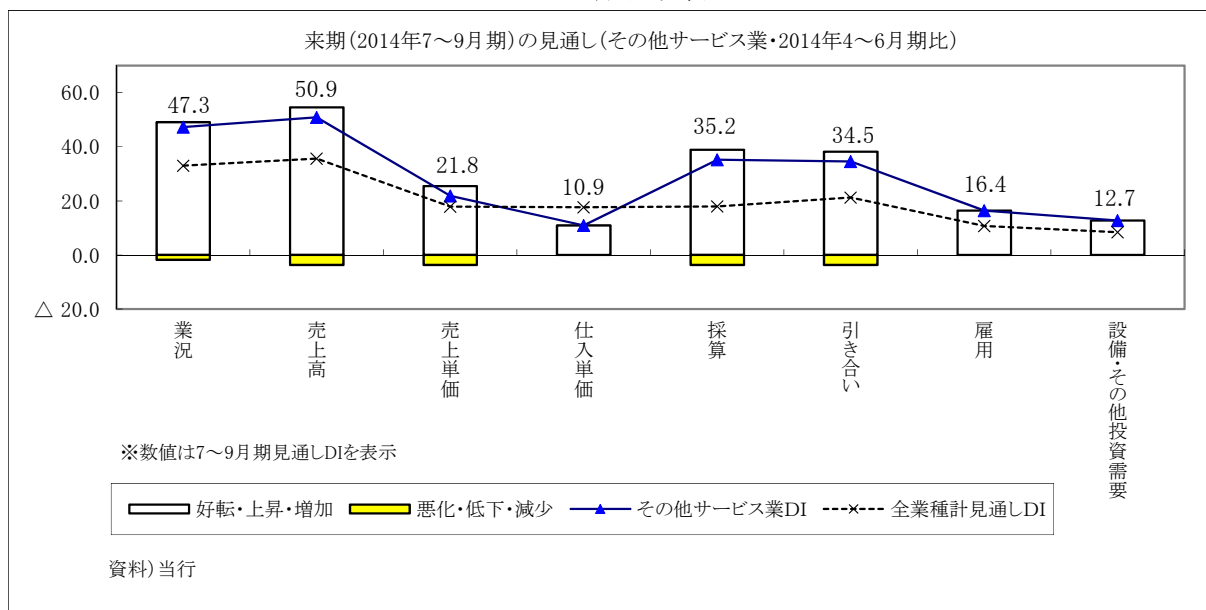
### a.当期の状況(2014年4~6月期の前年同期比)

【その他サービス業】DIをみると、観光需要増加などにより宿泊業、飲食業などで売上高や採算、引き合いの増加がみられます。特に、離島では海外クルーズ船の寄港などにより売上高が増加しており、その他サービス業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



### b.来期の見通し(2014年7~9月期の2014年4~6月期比)

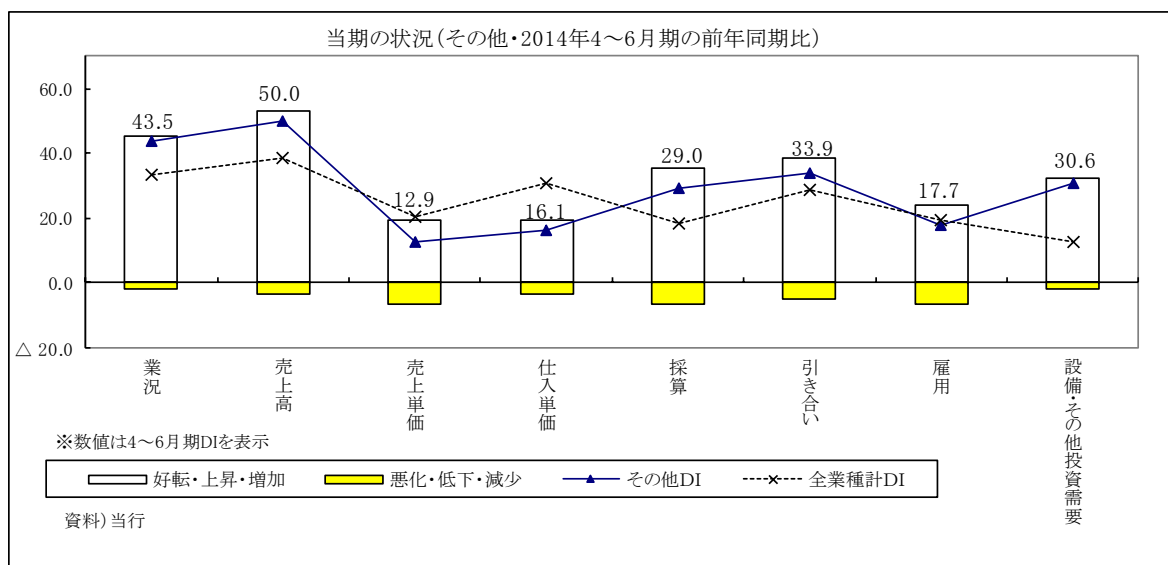
来期の見通し【その他サービス業】DIをみると、観光業界がトップシーズンを迎えることから、観光需要の増加が見込まれ、関連業種(宿泊、飲食、娯楽等)において売上高、採算、引き合いの改善が期待されます。その他サービス業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



## 10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

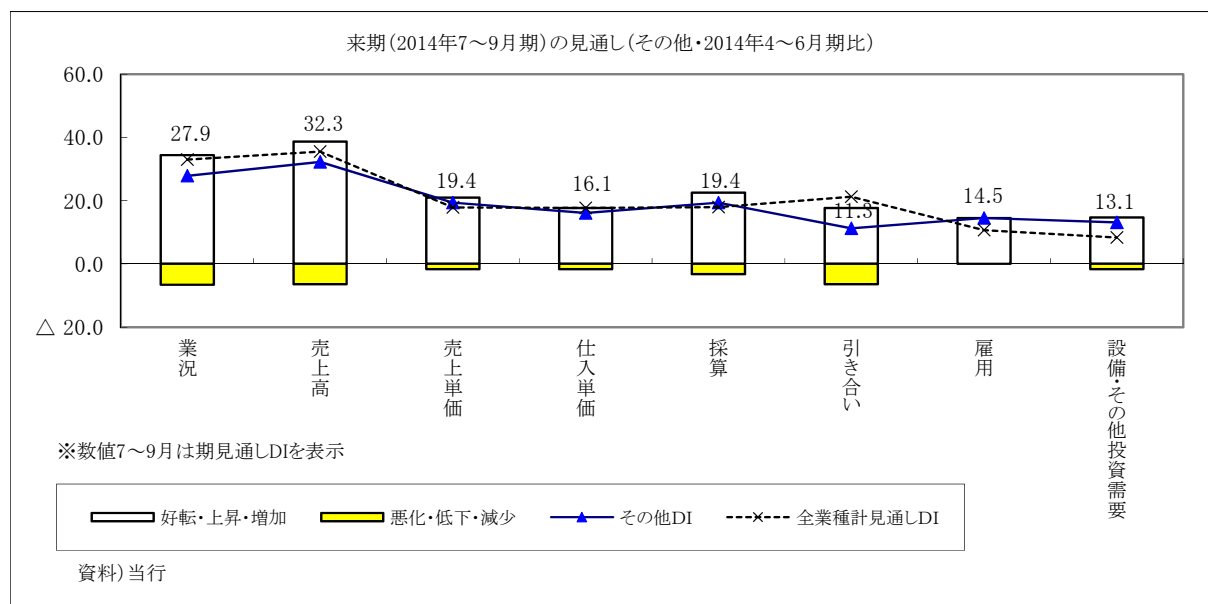
### a.当期の状況(2014年4~6月期の前年同期比)

【その他】DIをみると、不動産業などにおいて、消費税増税前の駆け込み需要で管理物件が増加したことにより売上高の増加が見られます。また、公共工事の受注増加などによる建設関連(建築業・土木業)の好調を受け、測量・設計業・重機リース業においても需要が増加しており、その他全体としては**業況改善の動き**がみられます。



### b.来期の見通し(2014年7~9月期の2014年4~6月期比)

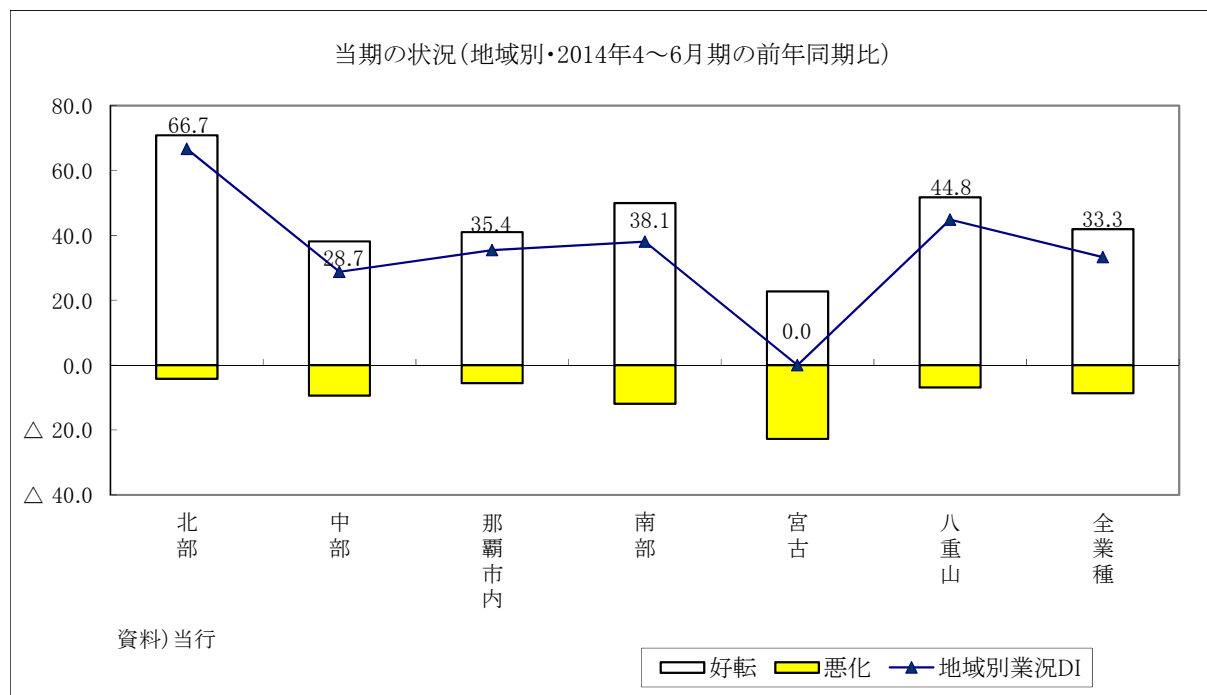
来期の見通し【その他】DIをみると、引き続き民間・公共工事の受注増加により測量・設計業、重機リース業において、売上高の増加が見込まれます。また、観光のトップシーズンの到来により観光客の増加が期待され、運輸業などにおいても売上高や引き合いの増加、採算の改善が期待されます。その他全体としては**業況改善の動き**がみられます。



### Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

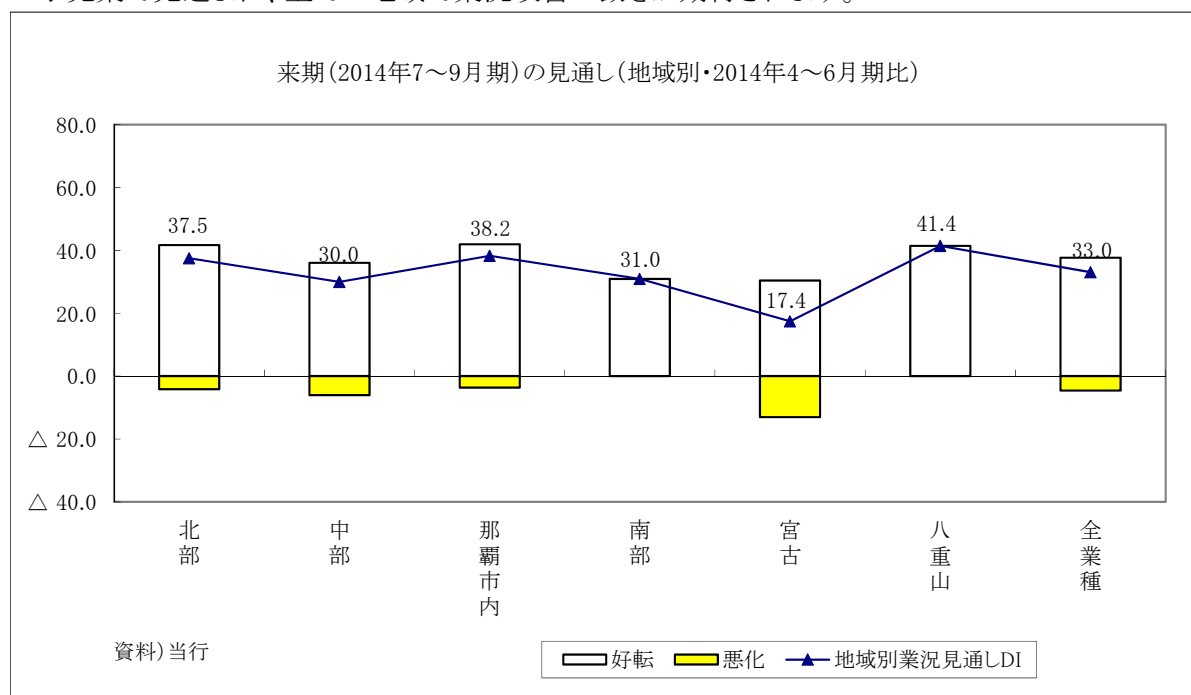
#### 1. 当期の状況(2014年4～6月期の前年同期比)

地域別業況DIをみると、消費税増税前の駆け込み需要で増加した民間工事の受注案件や公共工事増加の影響により建築業や不動産業、測量・設計業などが好調で、多くの地域で業況改善の動きとなりました。北部地区では、大型工事受注などにより、最も高い業況DI(66.7)となっています。



#### 2. 来期の見通し(2014年7～9月期の2014年4～6月期比)

来期の業況見通しDIをみると、引き続き民間・公共工事が堅調に推移することが予想されます。観光需要においては、引き続き新石垣空港の開港効果などが見込まれ、八重山地区が最も高い業況DI(41.4)となっています。また、消費税増税前の駆け込み需要の反動減からの業況改善も一部の小売業で見込まれ、全ての地域で業況改善の動きが期待されます。



#### IV.まとめ

##### 【当期業況DI】

- ① 当期（2014年4～6月期）の業況DI調査の結果は、前年同期比で33.3ポイントと業況改善の動きとなりました。
- ② 観光関連（飲食業、宿泊業、旅行代理店業）では、入域観光客数が好調に推移（3月＝10.8%増、4月＝9.5%増：いずれも前年同月比）していることなどから売上高や引き合いが増加しており、全体としては業況改善の動きがみられました。
- ③ 建設関連（土木業、建築業）では、公共工事の受注増加、消費税増税前の駆け込み需要で増加した民間工事の受注案件などにより、業況は好転しています。また、不動産業や測量・設計業においても業況は好転しています。一方、建築業では、一部の事業者で資材価格高騰や人件費増加による採算の悪化もみられます。
- ④ 小売業では、自動車や家電などにおいて消費税増税前の駆け込み需要の反動減がみられるものの、コンビニエンスストアや百貨店などが新規出店や改装効果により売れ行きが好調に推移していることから、小売業全体としては売上高や引き合いが増加しています。
- ⑤ 卸売業については、公共・民間工事の受注増加などにより建築資材・生コンの卸売販売で売上高、引き合いが増加しており、全体では業況改善の動きがみられました。また、一部の事業者（建築資材関連等）においては、消費税増税に伴う仕入価格上昇や売上高の減少もみられます。

##### 【来期の見通しDI】

- ① 来期（2014年7～9月期）の見通しDIについては、33.0ポイントとなりました。当期（2014年4～6月期）より改善されることが期待されます。
- ② 観光関連では、観光業界がトップシーズンを迎えることから、引き続き観光需要が堅調に推移することが期待され、業況改善の動きとなることが予想されます。
- ③ 建設関連においては、引き続き民間・公共工事の受注増加が期待されています。一方で、資材価格・人件費の高騰などから、採算悪化を懸念する事業者もみられます。
- ④ 小売業では、夏場の観光需要から、観光土産品販売、ガソリン販売（レンタカー利用者増加）の増加などで売上高の増加、採算の好転が見込まれます。また、スーパー・家電販売などにおいても消費税増税前の駆け込み需要の反動減からの持ち直しが期待されることから、小売業全体では業況改善の動きが見込まれます。

